



影の裏番長 Hana がへんしゅうきにかきました。あとほ野いなか山となか、くみあい社にマンガとは... いいの? 深野さん?!

編集後記

3月14日の文学部卒業礼拝の日、午後1時頃私が善福寺キャンパス正門を入れてみると、東校舎前に卒業生がずらっと並んでいます。いつもは西校舎の裏側を通って4号館へ行く私ですが、せっかくだから表側を通って行ったところ、私のゼミの学生が気付いて手を振ってくれました。迷わず私も手を振り返したところ、見ていた卒業生は皆笑っていたようですが、私としては、私のゼミ生を中心に卒業生みんなに手を振ったような気持ちでとても幸せな一瞬でした。

原稿をお寄せ頂いた皆様、有難うございます。退職された伊藤虎丸先生と矢澤静江先生の原稿は、次回掲載の予定です。大花さん有難う。(谷山)

ポーツとしていたら、いつの間にかこんな時期になってしまいました。今期中にあと何号出すんだっけ? え、3号? ... ウーン、笑ってごまかそう。

寄稿して下さった皆様、本当にありがとうございます。ありがとうございました。そして、アドバイザーのはずがほとんど編集長のようになっちゃった前編集委員の大花さん、それから皆様からの大切な原稿の束をナント! まるごと失くす(ホントなんだ、これが)という大失態を演じたサトウのために、せっかくの休日、雨の吉祥寺と一緒に走り回って下さった深野さん(ついでに昼までごちそうになっちゃってスママセン) 本当に、本当にありがとうございます。皆様無くしてこのANONは生まれなかった!

(佐藤)